

令和 8 年度 除排雪に関する市民アンケートの結果

アンケートの概要

【アンケートの目的】

本市の除排雪事業における令和 7 年度の評価や市民ニーズの把握を行うため

【調査方法】

令和 7 年度調査と同様にインターネット上に専用フォームを設け調査を実施しました。

- ・一般向け：広報誌、ホームページ、SNS、チラシ・ポスター、くらしのアプリ等で二次元コードを周知し、専用フォームで回答を受付
インターネット環境のない方向けに各支所、公民館等にて用紙を配布し、紙による回答も受付

回答結果の集計にあたっては、「雪対策に関する市民アンケート」（地区除雪連絡協議会会員（町内会長等）及び無作為に選んだ市民 3, 0 0 0 人を対象としたアンケート）における同様の項目とまとめて集計を行いました。

- ・地区除雪連絡協議会会員向け：対象者に用紙を郵送（1, 3 1 7 件）し、返送を依頼
専用フォームによる回答も併用
- ・無作為抽出市民三千人向け：対象者に用紙を郵送（3, 0 0 0 件）し、返送を依頼
専用フォームによる回答も併用

なお、「除排雪に関する市民アンケート」の質問の後の〈〉内に、「雪対策に関する市民アンケート」における質問番号と質問文を表示しています。両アンケートの質問文に差異がない場合、質問文の表示は省略しています。

【調査期間】

令和 8 年 6 月 1 7 日（水）から 7 月 1 7 日（金）まで

【回答数】

- 「雪対策に関する市民アンケート」との合計 4, 3 6 0 件
- 「除排雪に関する市民アンケート」のみ 2, 4 8 1 件（昨年度 2, 8 5 1 件）

【調査結果の表し方】

回答率の百分率は少数第 1 位を四捨五入し、整数で表示しているため、回答率の合計が 100% にならない場合があります。

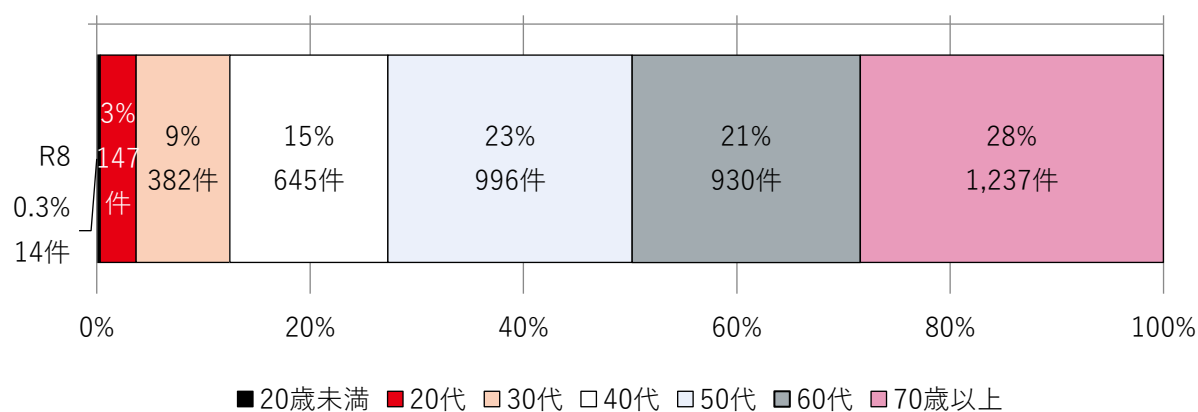


回答者のプロフィール

年齢層

【質問 1】

あなたの年齢（年代）を教えてください。〈Q1〉



※無回答9件

居住区域

【質問 2】

あなたのお住まいはどちらの地区ですか？〈Q2〉

地 区 名	回答数	割合
豊岡・東旭川	530	12%
東光	538	12%
神楽・緑が丘・西神楽	545	13%
神居	439	10%
中央	375	9%
北星・江丹別	390	9%
春光・春光台・鷹の巣	419	10%
末広・東鷹栖	438	10%
永山・新旭川	673	15%
合計	4,347	100%

※無回答13



旭川市の除排雪について

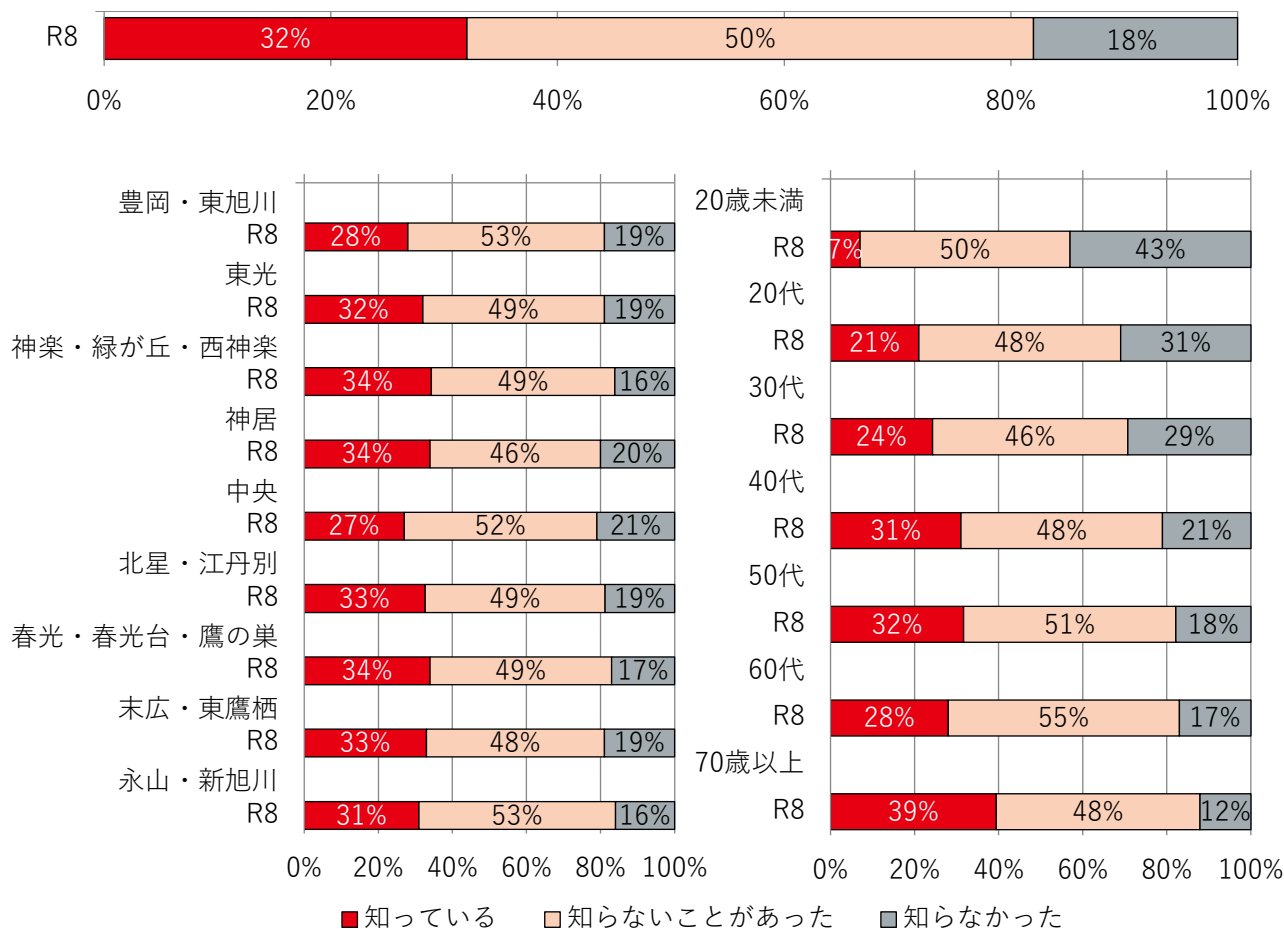
- 旭川市では、除雪作業を実施する車道の距離は約2,136km（令和7年度実績）あり、バス通りなどの交通量の多い「**幹線道路**」と住宅街の「**生活道路**」に大きく分け、それぞれ**基準**を設けて作業しています。
- 除雪は、交通量の少ない深夜から朝方までの**限られた時間で作業**を終わらせるため、降り積もった雪を**道路脇にかき分ける方法**で除雪しています。玄関前に**残った雪は各家庭での処理**をお願いしています。
- 生活道路では、道路脇に積む雪の量や高さを減らすため、路面を30cm程度の圧雪で管理**しています。
- 雪を大型ダンプに積み込み河川敷などの雪堆積場に運ぶ排雪は、1日に300台以上の大型ダンプが作業するなどたくさんの車両と人員、時間が必要です。**幹線道路**の排雪を一巡するのに**2～3週間**、**生活道路は約1か月**の期間がかかります。

【質問 3】

上記の除排雪作業の仕組みや、旭川市の除排雪基準及び水準についてご存じでしたか？

〈Q16 旭川市の除排雪作業の仕組みや、除排雪の水準（出動基準、管理基準など）についてご存じでしたか？〉

< 全体の結果 >



旭川市の除排雪作業の仕組みや基準・水準は、「知っている」が全体の3分の1、「知らないことがあった」「知らなかった」が残り3分の2を占めました。

地区別では割合に大きな差異は見られませんが、年齢別では年代が上がるごとに「知らなかった」の割合が減少する結果となりました。



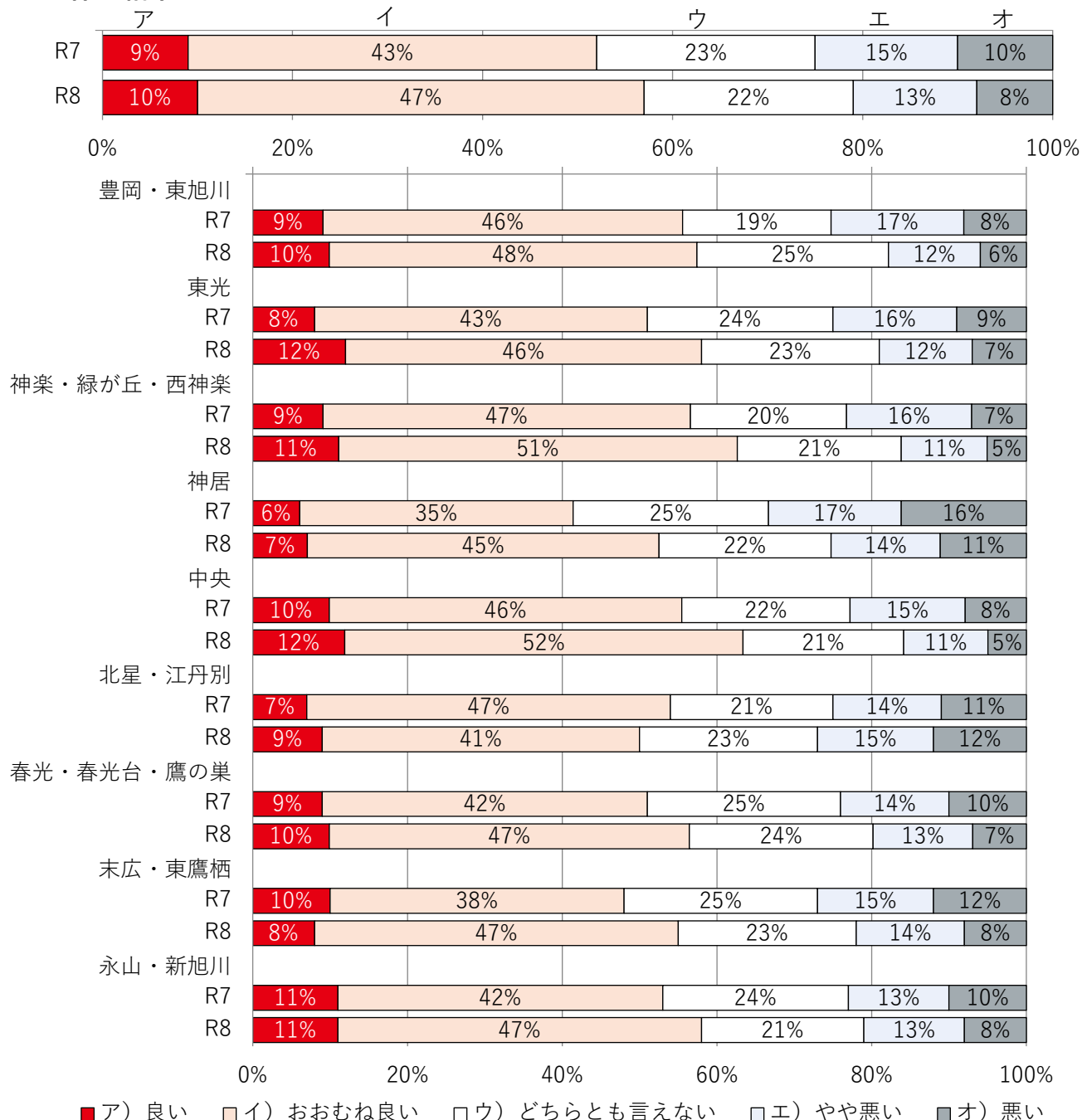
昨シーズン（令和7年11月～令和8年3月）の冬の状況について

【質問 4】

お住まいの地区の「幹線道路」の車の走りやすさは、例年と比べてどう思いますか？

〈Q8 旭川市の「幹線道路」の除雪について、どう思いますか？〉

<全体の結果>



幹線道路の車の走りやすさは、「ア) 良い」「イ) おおむね良い」の回答が57%、「オ) 悪い」「エ) やや悪い」の回答が21%となり、それぞれ前年度（52%、25%）から評価が少し向上しました。

地区別では、「神楽・緑が丘・西神楽」「中央」地区で「ア) 良い」「イ) おおむね良い」の回答が6割を超え、それ以外の地区でも5割を超える結果となりました。また、「北星・江丹別」以外の地区で、「オ) 悪い」「エ) やや悪い」の回答割合が減少しています。

令和7年度調査と比較すると、「北星・江丹別」以外のすべての地区で評価が上がりました。



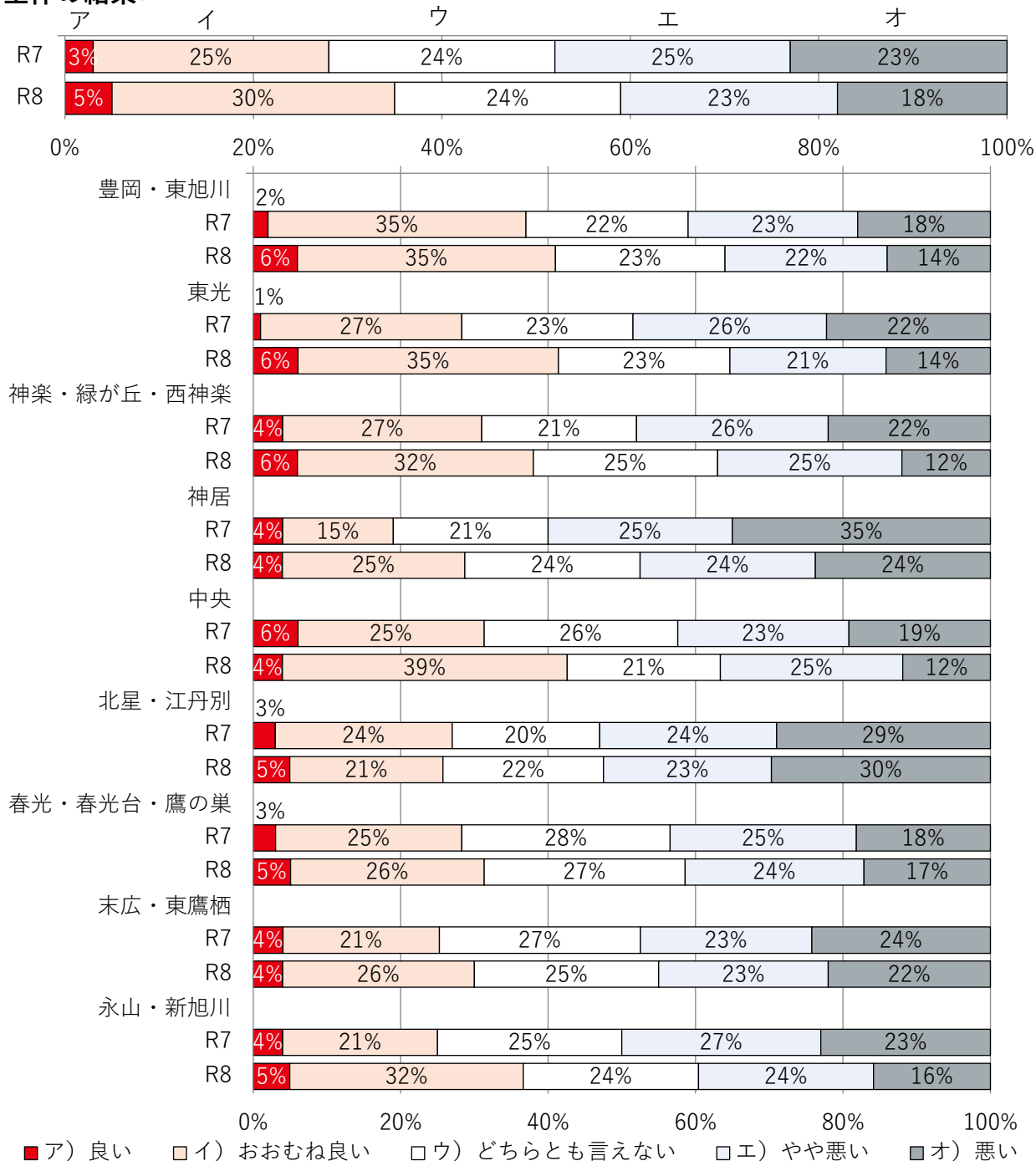
昨シーズン（令和7年11月～令和8年3月）の冬の状況について

【質問 5】

お住まいの地区の「生活道路」の車の走りやすさは、例年と比べてどう思いますか？

〈Q9 旭川市の「生活道路」の除雪について、どう思いますか？〉

<全体の結果>



生活道路の車の走りやすさは、「ア) 良い」「イ) おおむね良い」の回答が35%、「オ) 悪い」「エ) やや悪い」の回答が41%と、それぞれ前年度（28%、48%）から評価が改善しました。

地区別では、「豊岡・新旭川」「東光」「中央」の3地区で「ア) 良い」「イ) おおむね良い」の回答が4割を超え、「神楽・緑が丘・西神楽」を含めた4地区で「ア) 良い」「イ) おおむね良い」の回答が「オ) 悪い」「エ) やや悪い」の回答を上回る結果となりました。



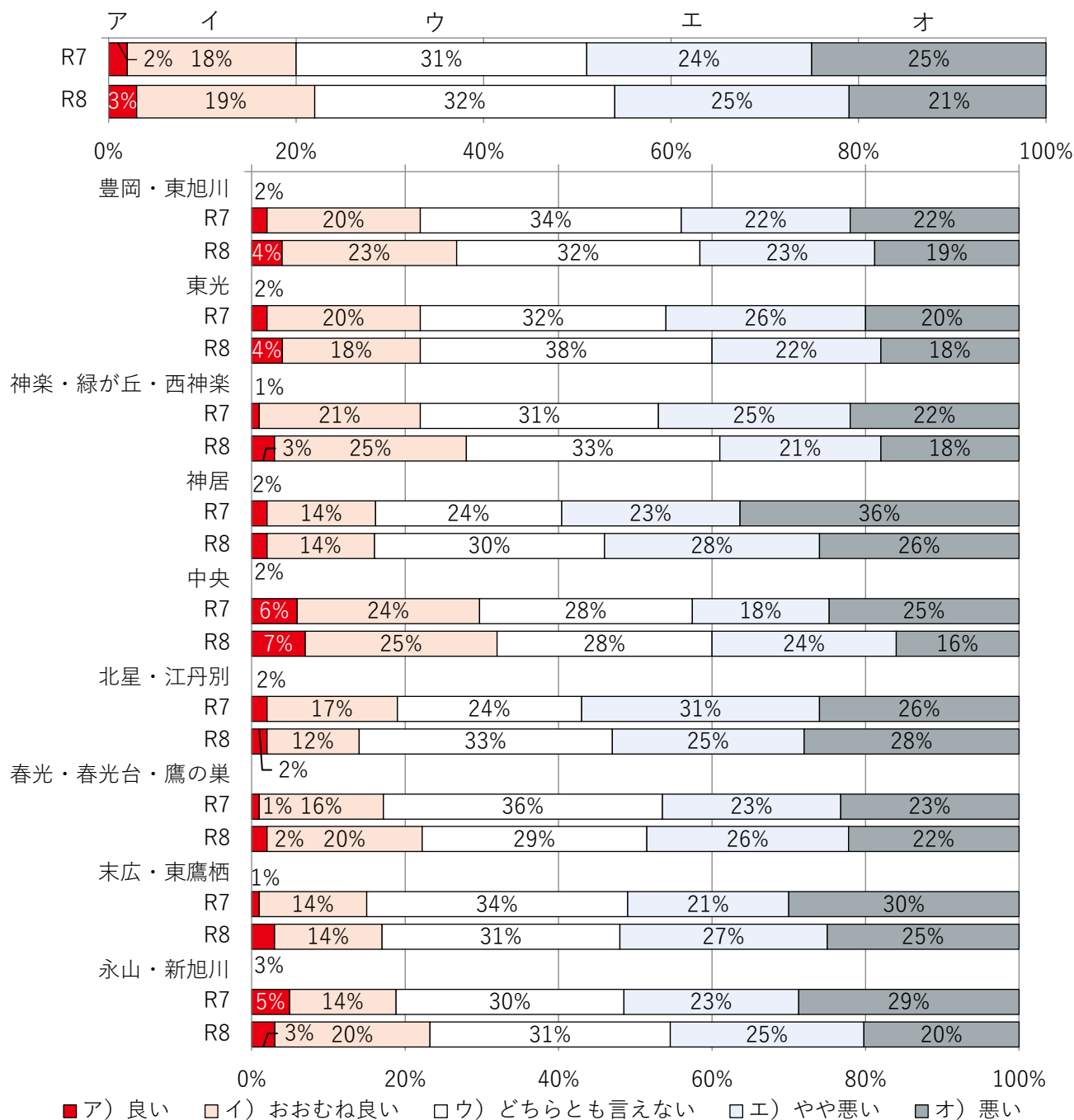
昨シーズン（令和7年11月～令和8年3月）の冬の状況について

【質問 6】

お住まいの地区の「歩道」の歩きやすさは、例年と比べてどう思いますか？

〈Q10 旭川市の「歩道」の除雪について、どう思いますか？〉

<全体の結果>



歩道の歩きやすさは、「ア) 良い」「イ) おおむね良い」の回答が22%、「オ) 悪い」「エ) やや悪い」の回答が46%となり、それぞれ前年度（20%、49%）から評価が少し改善しました。
地区別では、「春光・春光台・鷹の巣」「末広・東鷹栖」を除く7地区で「オ) 悪い」「エ) やや悪い」の回答が減少しました。



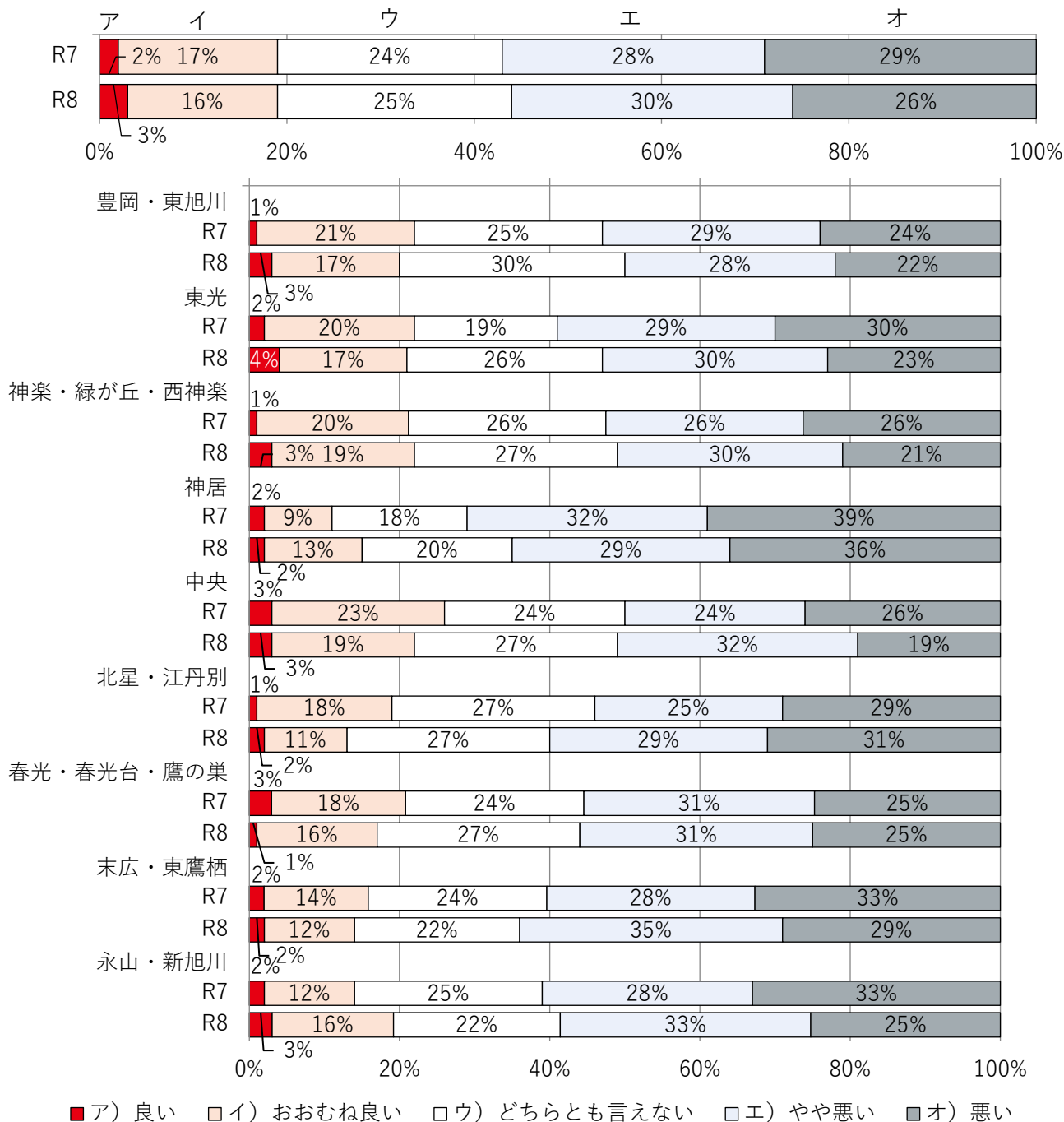
昨シーズン（令和7年11月～令和8年3月）の冬の状況について

【質問 7】

お住まいの地区の「交差点の見通し」について、例年と比べてどう思いますか？

〈Q11 旭川市の「交差点の見通し」について、どう思いますか？〉

<全体の結果>



交差点の見通しは「ア) 良い」「イ) おおむね良い」との回答が19%、「オ) 悪い」「エ) やや悪い」との回答が56%となり、それぞれ前年度（19%、57%）と同様の結果となりました。

地区別では、「神居」地区が最も「オ) 悪い」「エ) やや悪い」の回答が多いですが、評価は前年度と比べて改善しています。また、「中央」「北星・江丹別」「春光・春光台・鷹の巣」「末広・東鷹栖」を除く5地区で「オ) 悪い」「エ) やや悪い」の回答が減少しました。



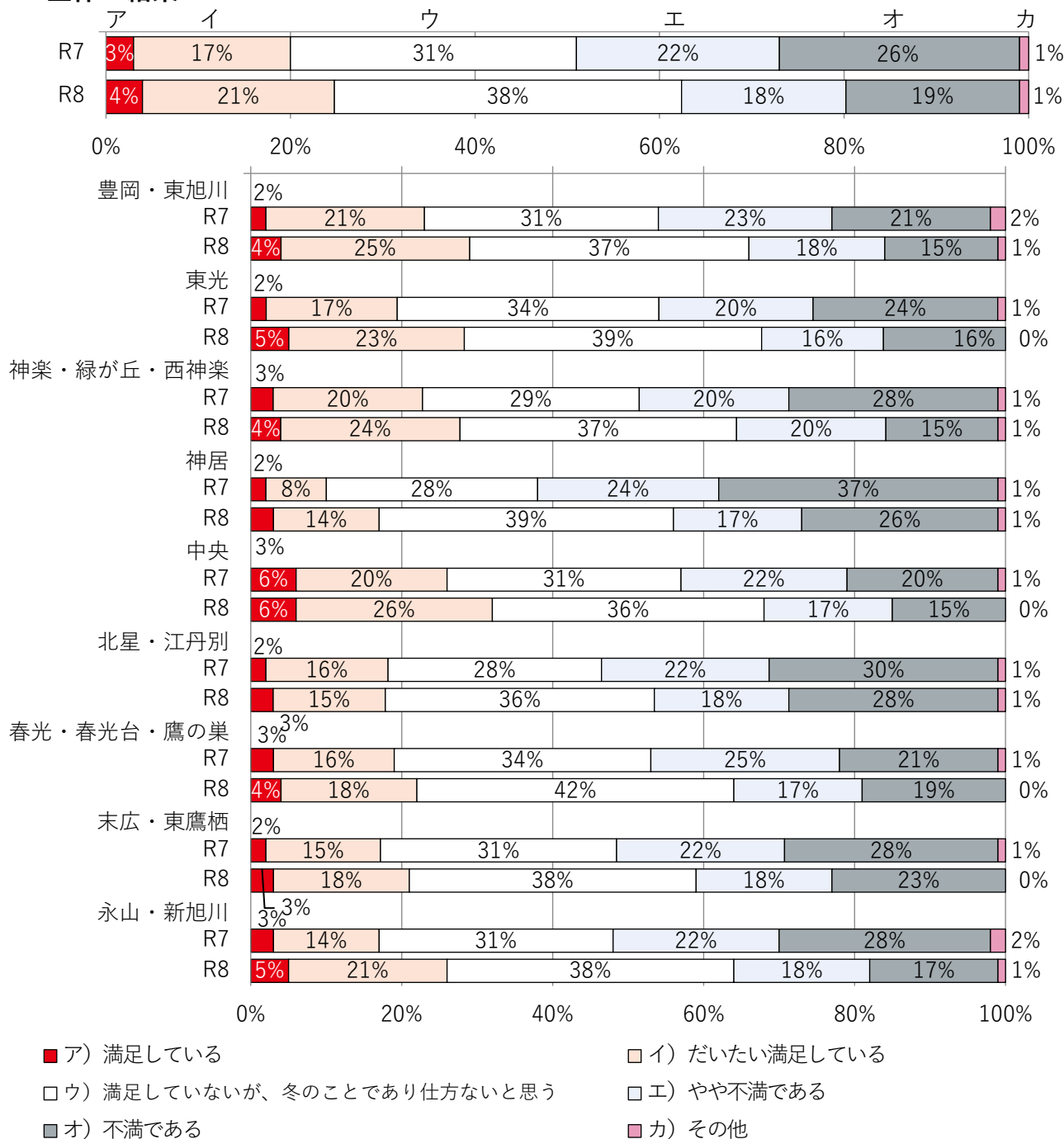
昨シーズン（令和7年11月～令和8年3月）の冬の状況について

【質問 8】

お住まいの地区の除雪状況を総合的に見て、例年と比べてどう思いますか？

〈Q12 旭川市の除雪状況を総合的に見て、どう思いますか？〉

<全体の結果>



除雪の総合的な評価は、「ア) 満足している」「イ) だいたい満足している」との回答が25%、「オ) 不満である」「エ) やや不満である」との回答は37%となり、それぞれ前年度（20%、48%）から評価が改善しました。

地区別では、全ての地区で「オ) 不満である」「エ) やや不満である」との回答がそれぞれ前年度を下回り、「神居」地区でマイナス18ポイント、「永山・新旭川」地区でマイナス16ポイントと大きく改善しました。

令和7年度調査と比較すると、全ての地区で評価が上がりました。

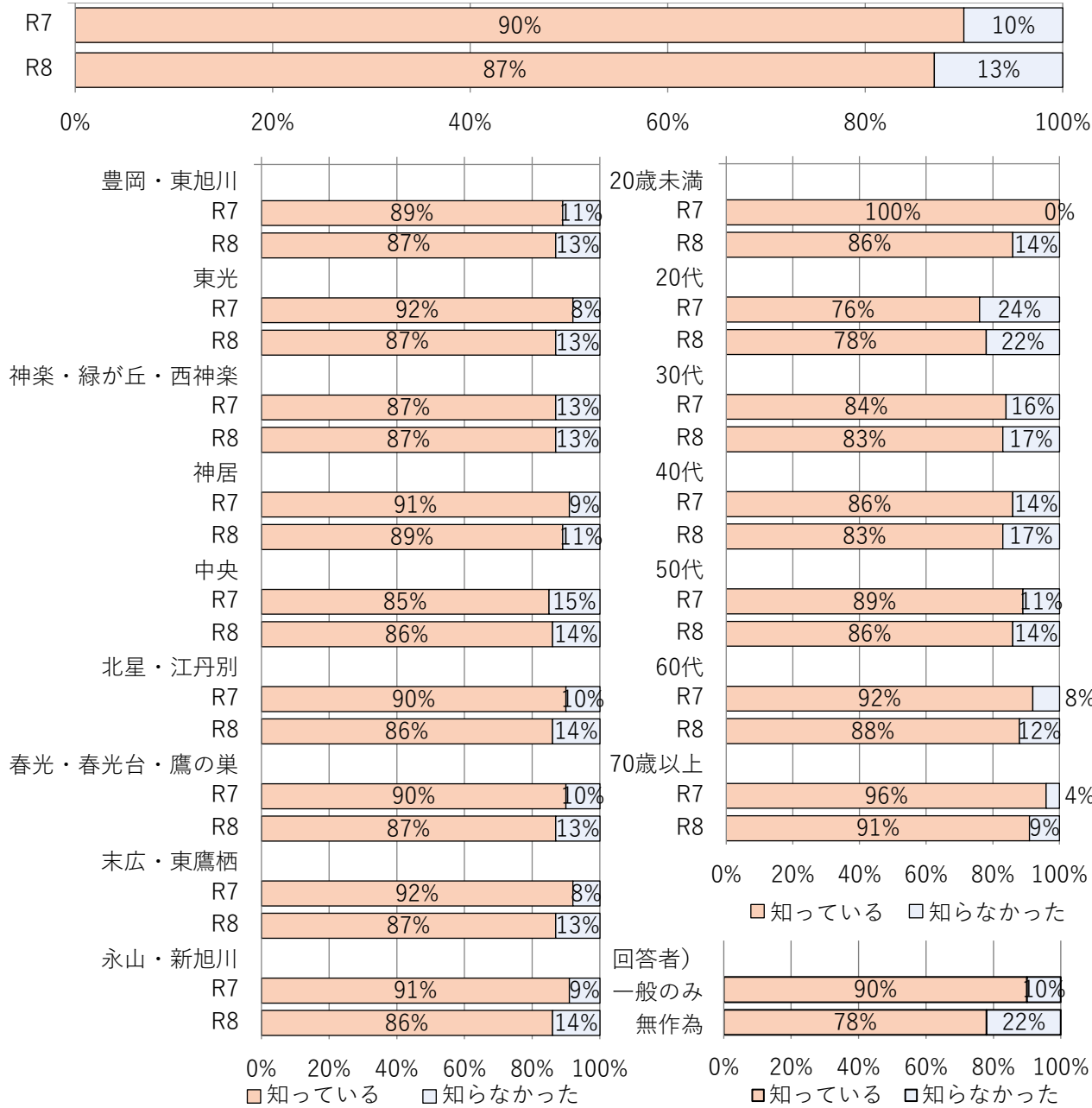


雪処理のルール・マナーについて

【質問 9】

令和5年9月に施行した旭川市雪対策基本条例では、敷地内の雪をみだりに道路に出してはならないと定めています。自宅や会社など敷地内の雪を車道や歩道に出すことは、道路法や道路交通法という法律で禁じられていることをご存じですか？〈Q13〉

＜全体の結果＞



87%の方が法律で禁じられていることを知っていました。

年代別では「20代」で「知っている」との回答が8割を下回っていますが、年代が上がるごとに認知度が向上しています。

前年度のアンケートに比べて「知っている」の割合が減少していますが、無作為に選んだ市民を対象に加えたことが影響しています。本アンケートの回答者（一般市民）のみを抽出すると、90%の方が「知っている」と回答し、比較的認知度が高い結果となっています。



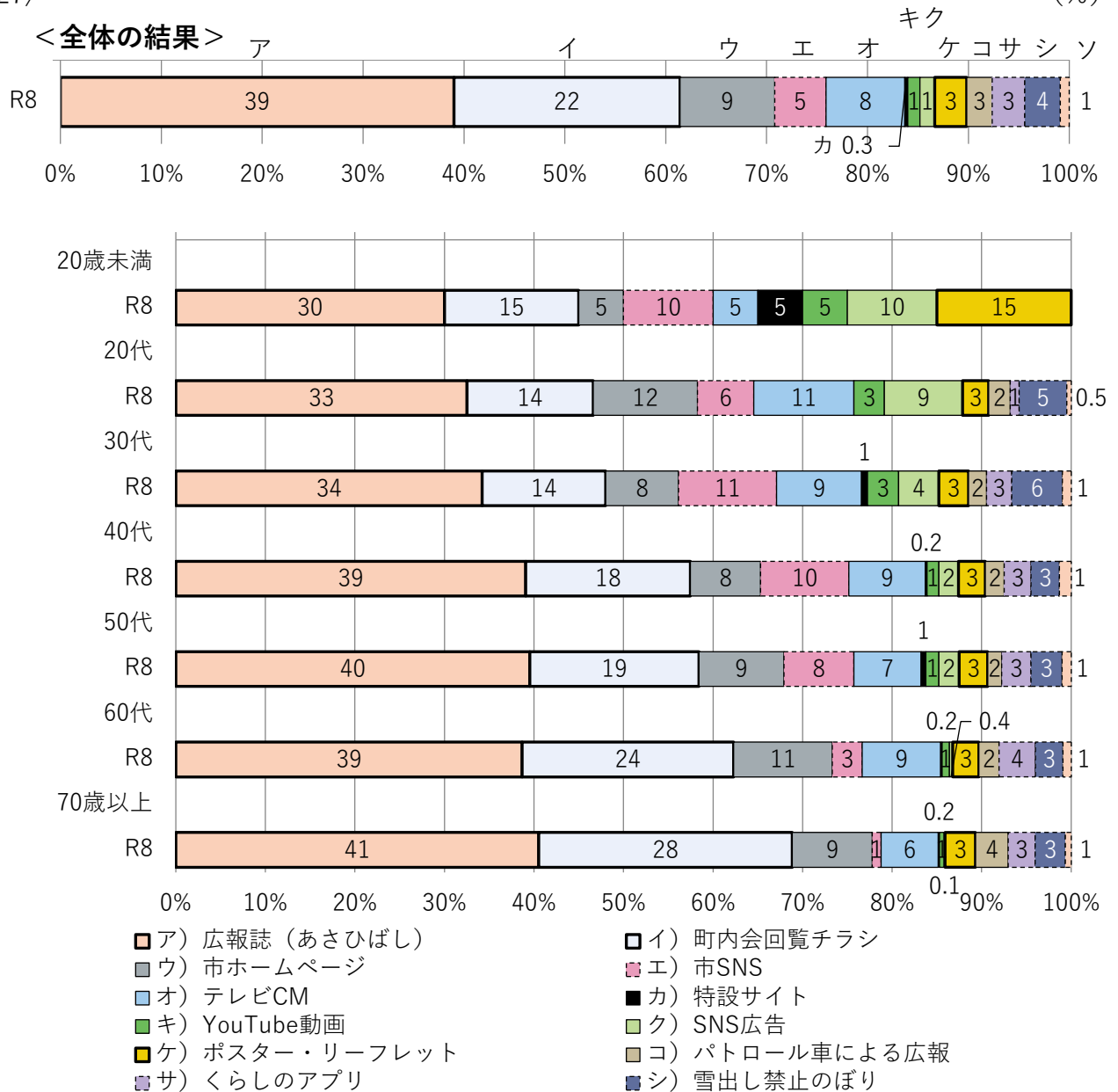
雪処理のルール・マナーについて

【質問 10】

令和 7 年度は、除排雪の仕組みや雪処理のルール・マナーの周知啓発に取り組むため、広報誌への連載企画や、テレビCM放映・SNS 広告などの広報プロモーションによる雪対策の情報発信の強化に取り組みました。見聞きした情報発信媒体の中で、印象に残ったものを 3 つまで選んでください。

〈Q27〉

(%)



印象に残った情報発信媒体は、「ア) 広報誌 (あさひばし)」が回答の39%、「イ) 町内会回覧チラシ」が22%の順となりました。紙媒体である「ア」「イ」及び「ケ) ポスター・リーフレット」については、40代以上で回答の6割以上を占めているのに対し、若い世代では5割前後の回答となっています。

次いで「ウ) 市ホームページ」「オ) テレビCM」「エ) 市SNS」の順で回答数が多くなっていますが、「エ) 市SNS」は年代が上がるにつれ減少するのに対し、「ウ) 市ホームページ」「オ) テレビCM」は年代を問わず印象に残っていることがわかりました。



これからの旭川の除排雪について

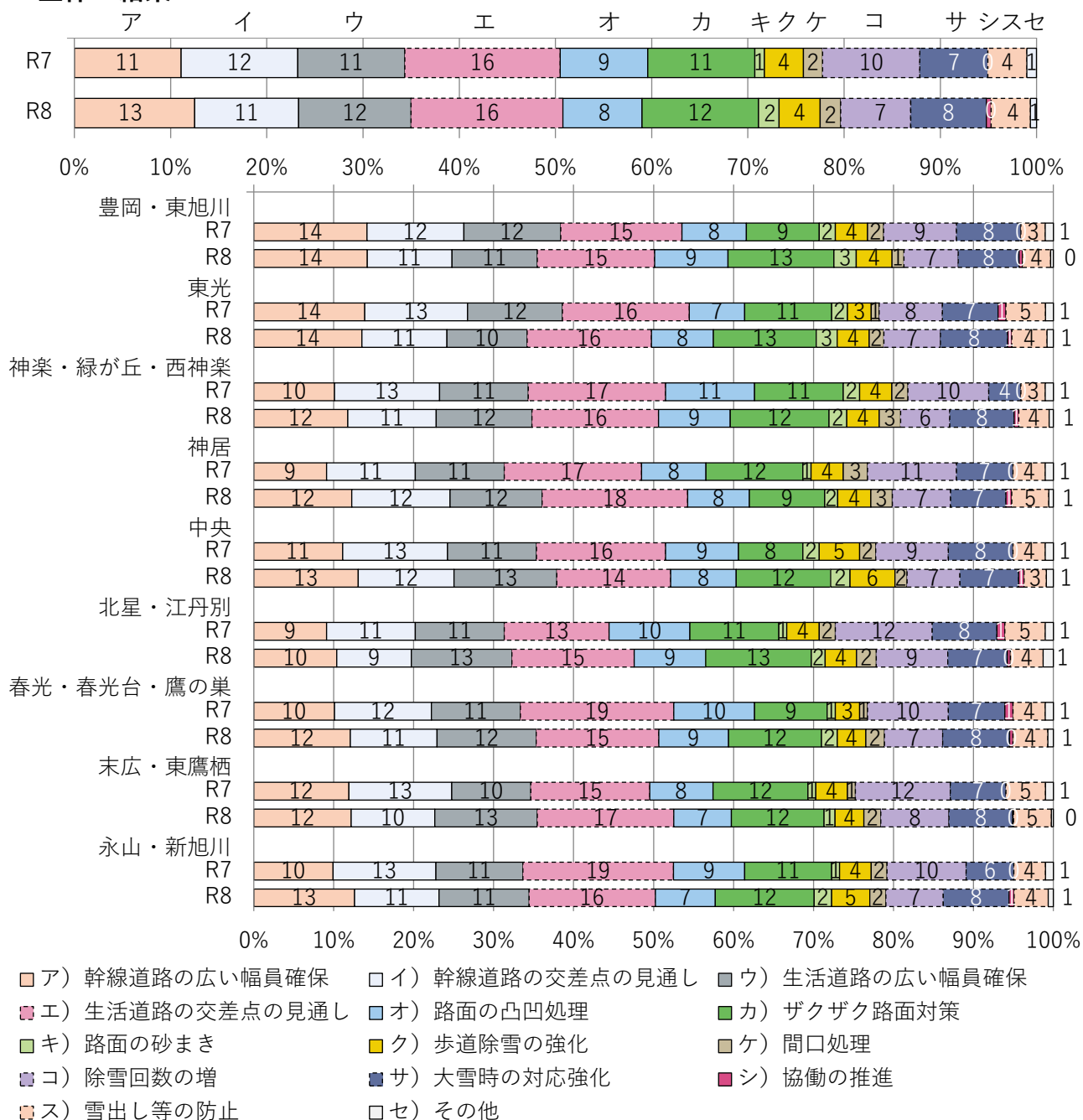
【質問 1 1】

これからの除排雪においては、どのようなことを優先していきべきだと思いますか？

当てはまるものを3つまで選んでください。〈Q31〉

(%)

<全体の結果>



除排雪において何を優先すべきかは、昨年度調査と同様「エ）生活道路の交差点の見通し」の回答が最も多く、次いで「ア、ウ）道路の広い幅員確保」と「カ）ザクザク路面对策」、「イ）幹線道路の交差点の見通し」となっています。

昨シーズンはザクザク対応を強化したことで、シーズン中の改善要望件数は減少しましたが、「カ）ザクザク路面对策」に対する回答は「神居」地区以外のすべての地区で昨年度以上の結果となりました。

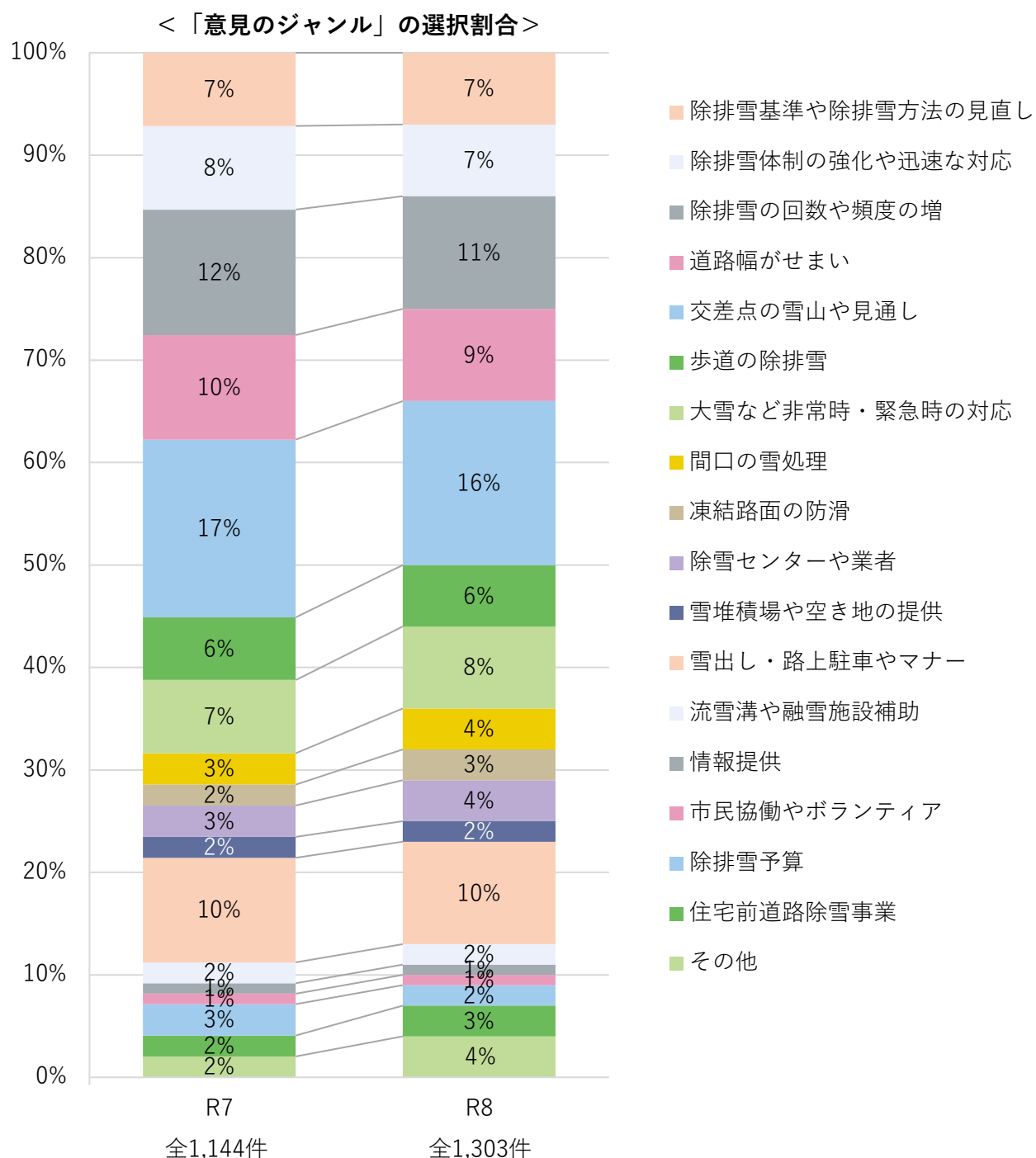
全体的な傾向としては、昨年度と大きな差はありませんでした。



全体を通して

【質問 1 2】

除排雪や雪対策など全般について、皆様のご意見などがありましたらお聞かせください。〈Q32〉



令和 7 年度調査では「交差点の雪山や見通し」「除排雪の回数や頻度の増」に関する意見が多くありましたが、令和 8 年度調査でも同様の傾向となりました。

自由意見では様々な意見があり、昨年度と「意見のジャンル」の選択割合はほぼ同じとなりましたが、具体的な意見内容としては「雪出し・路上駐車や、マナー」が多くあり、近隣の雪出し行為についての指導を求める意見が寄せられました。